広島女学院大学

2024年度学校推薦型選抜「公募制推薦入試」

『課題小論文』に関する内容（日本文化学科）

試験では下記のテーマに関する小論文を記述してください。（試験時間80分）

■ 日本文化学科 ■

【第１回公募制推薦入試】課題テーマ

『戦争抑止の方法』

戦争抑止とかかわる以下の新聞社説を参考に、「戦争抑止の方法」に関するあなたの見解を800字以内で述べてください。

- 2022年5月1日の東京新聞社説「戦争と平和を考える『法の支配』を諦めない」
  (https://www.tokyo-np.co.jp/article/174898)
- 2022年8月6日の中日新聞社説「記憶と記録が抑止力　原爆忌に考える」
  (https://www.chunichi.co.jp/article/521691)

なお、これら以外の新聞社説を参考にしてもかまいませんが、参考にする資料は、新聞社説に限定します。タイトルは「戦争抑止の方法」とします。

【第２回公募制推薦入試】課題テーマ

『方言の魅力が発揮されるとき』

青空文庫(aozora.gr.jp)に掲載されている岸田國士「方言について」(https://www.aozora.gr.jp/cards/001154/files/44507_36700.html)を読んで、方言の魅力が発揮されるときについてのあなたの見解を800字以内で述べてください。タイトルは「方言の魅力が発揮されるとき」とします。

＜アドバイス等＞

自分自身の意見には、必ず根拠をつけましょう。

【注意事項】

新しい段落に移るための改行に伴う空白のマス目は文字数に含めます。

（第１回について）

参考にした新聞社説を引用するときには、次のような形式を用いてください。

【引用形式の例】

- 2022年8月6日付の中日新聞社説「記憶と記録が抑止力　原爆忌に考える」で述べられているように、(引用内容)。
- 2022年8月6日付の中日新聞社説「記憶と記録が抑止力　原爆忌に考える」によれば、(引用内容)。
- 2022年8月6日付の中日新聞社説「記憶と記録が抑止力　原爆忌に考える」に、(引用内容)とあるが、～。

【試験に持ち込むことが可能なもの】

あらかじめ自分で用意したメモ（本学所定の用紙に 400 字以内）

メモは試験終了後に回収します

（第１回）

参考にしようと考えている新聞社説の切り抜きやサイトに載っている新聞社説を印刷した用紙

（第２回）

青空文庫(aozora.gr.jp)に掲載されている岸田國士「方言について」の内容を印刷した用紙

メモ用紙は次のページ

広島女学院大学　人文学部　日本文化学科

2024年度 公募制推薦入試「課題小論文」指定メモ用紙

受験番号	

枠内の文字数（400字）以内で記載をして下さい。このメモ用紙は試験会場への持ち込みが可能です。

20

100

200

300

400

【注意】この用紙は試験終了後に回収します